



第15弾学習会のご案内

「日本の原発依存エネルギー政策のあり方を問う」

～北海道地震の大規模停電・九州電力の太陽光発電出力制御問題から～

北海道胆振東部地震での全道停電(ブラックアウト)、九州電力による太陽光発電の出力抑制は、原発頼みの電力システムの問題を改めて浮き彫りにしました。これを受けて、原発をなくす全国連絡会においても、改めて日本の原発依存エネルギー政策の問題点を学ぶ契機にしたいと考え、このたび学習会を開催することになりました。

当日は、日本科学者会議事務局長の井原聰氏より、標記のテーマでお話いただきます。多くの方のご参加をお待ちしております。

講師：井原 聰氏（日本科学者会議事務局長、東北大学名誉教授）

日時：2018年12月18日（火）18：30～20：30

場所：平和と労働センター2階ホールステージ側前方（東京都文京区湯島 2-4-4）

アクセス：JR中央線「御茶ノ水駅」・丸の内線「御茶ノ水駅」下車 徒歩8分

参加費：無料

★当日のプログラム★

18：30～18：35 開会あいさつ 18：35～20：05 講演

20：05～20：25 質疑 20：25～20：30 閉会あいさつ

主催：原発をなくす全国連絡会 〒113-8465 東京都文京区湯島 2-4-4 平和と労働センター7F

<https://www.no-genpatu.jp> mail: no-nukes@min-ire.ne.jp

